

医学部の入試に関する調査

結果概要

平成 28 年 3 月

北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センター

□調査目的

進学高校の進路指導担当者の医学部入試に関する現状を調査し、医学部入試における教育格差や「地域枠」に関する問題の一端を明らかにし、今後の医学部入試の改善に向けた資料を提供するために実施した。

□調査対象・方法

「国公立医学科合格者ランキング」及び「全国トップ 1710 高校」より抽出した 1746 校の進路指導担当者に調査票を郵送した。

□調査時期

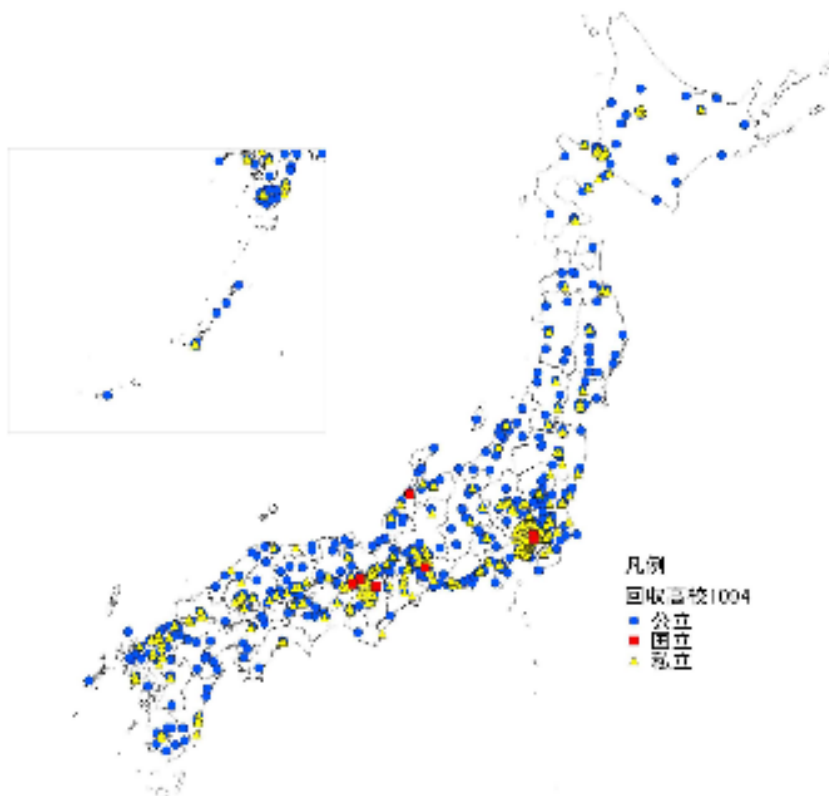
第 1 次：平成 27 年 6 月 23 日～8 月 19 日

第 2 次：平成 27 年 9 月 7 日～10 月 26 日

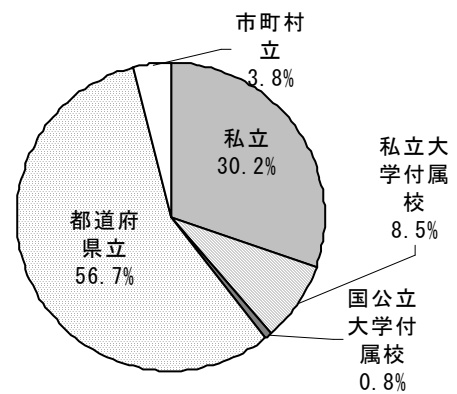
□都道府県別回答結果

	全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
発送数	1746	92	17	20	31	14	19	30	42	36	27	65	45	174	83	35	20	20	17	17	28	32	59	89
回答高校	1094	72	14	15	23	10	13	26	32	23	18	42	28	107	55	25	9	12	15	12	20	19	40	53
未回答校	652	20	3	5	8	4	6	4	10	13	9	23	17	67	28	10	11	8	2	5	8	13	19	36
	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
発送数	24	20	41	112	95	24	14	9	15	35	51	25	9	16	21	8	78	16	25	14	21	19	32	10
回答高校	18	14	17	46	52	16	12	7	8	21	29	11	5	10	13	6	41	12	15	8	10	13	19	8
未回答校	6	6	24	66	43	8	2	2	7	14	22	14	4	6	8	2	37	4	10	6	11	6	13	2

□回答高校の分布



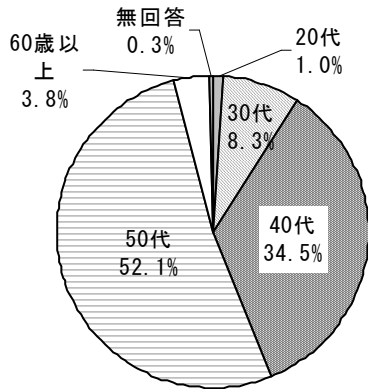
□設置種別



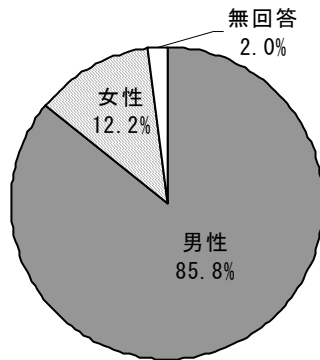
□先生の年齢・性別・経験年数

- 40代(34.5%)と50代(52.1%)で9割弱を占める。
- 男性が85.8%。女性は12.2%。
- 高校教師としての平均経験年数は、25.2年。20年未満は2割に留まる。

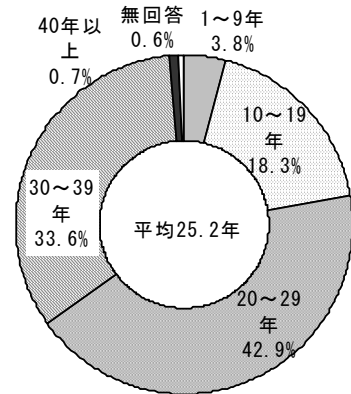
図表1 年代



図表2 性別



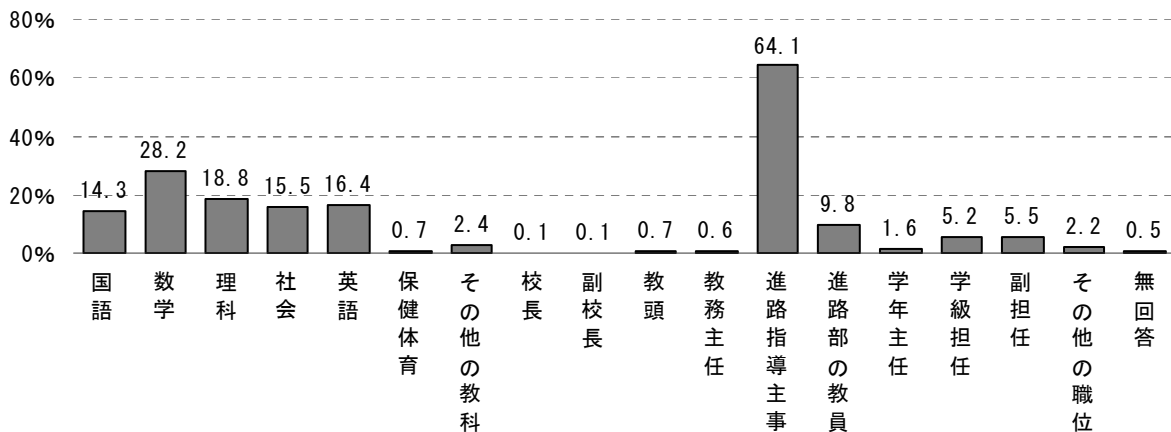
図表3 高校教師経験年数



□担当教科・職位（複数回答）

- 「進路指導主事」(64.1%)が突出して最大となる。
- これに「数学」(28.2%)、「理科」(18.8%)、「英語」(16.4%)などが続く。

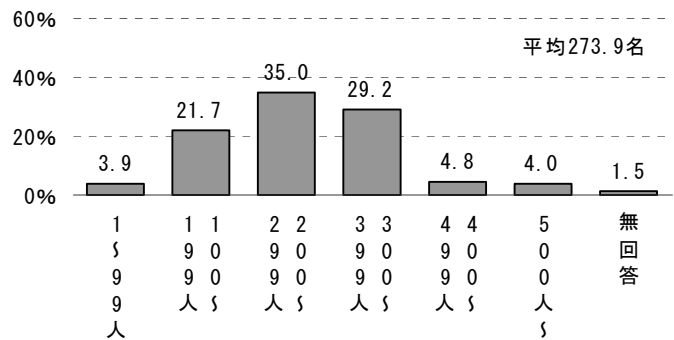
図表4 担当教科・職位



□今年度の3年生の生徒数

- 「200～299人」(35.0%)が最大。これに「300～399人」(29.2%)が次ぐ。
- 平均人数は273.9人。

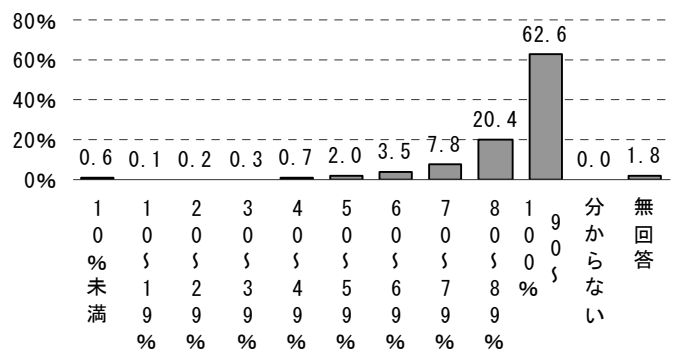
図表5 3年生生徒数



□直近年で、卒業後の進学率（短大、専門学校などを含む）

- 短大や専門学校を含めた卒業後の進学率は「90～100%」(62.6%)が突出して最大となる。これに「80～89%」(20.4%)が次ぐ。
- 79%以下は、いずれも1割に満たない。

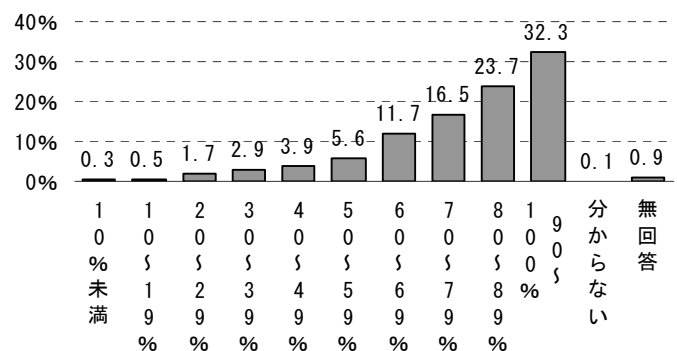
図表6 卒業後の進学率（短大・専門学校含む）



□直近年で、卒業後に4年制大学に進む生徒のおおよその割合

- 卒業後の4年生大学進学率は「90～100%」(32.3%)が最大で、「80～89%」(23.7%)、「70～79%」(16.5%)の順で続く。
- 59%以下は、僅少な結果となった。

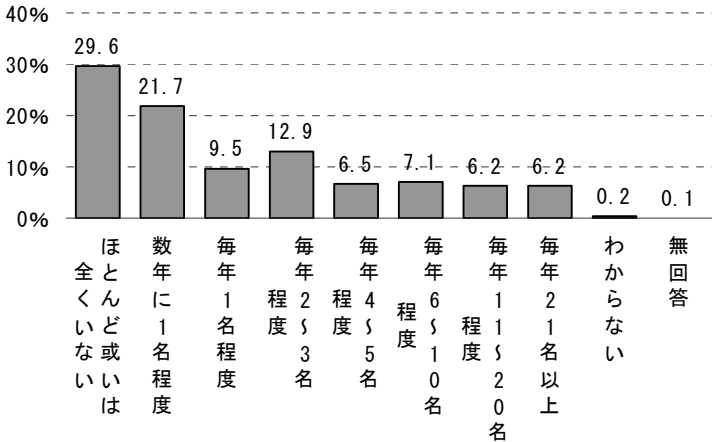
図表7 卒業後の進学率（4年制大学）



□平均的な年で、医学部に進学しているおおよその生徒数（現役と貴校卒業浪人生を合わせて）

- 平均的な年で医学部に進学する生徒数は「ほとんど或いは全くいない」（29.6%）が最大となる。
- 「数年に1名程度」（21.7%）、「毎年2～3名程度」（12.9%）が次ぐ。
- 毎年10名以上医学部に進学する高校も1割を超える。

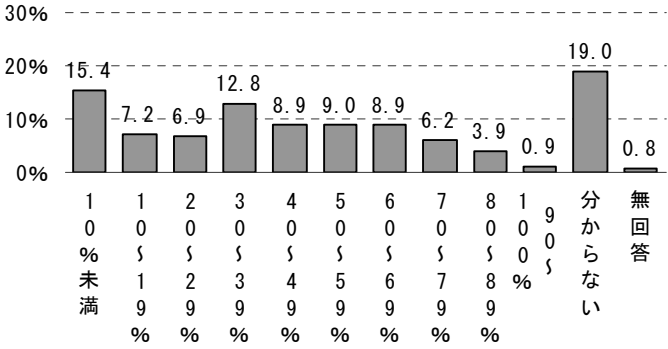
図表 8 医学部に進学する生徒数



□3年次の全在校生の何割くらいが、予備校や塾に行っていますか。

- 3年次での予備校・塾を利用する生徒は、「10%未満」（15.4%）が最も多く、「30～39%」（12.8%）が拮抗する。
- その他、1割を超えるものはない。

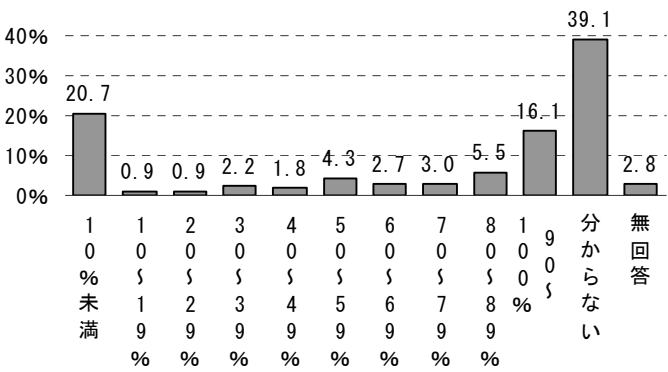
図表 9 予備校・塾の利用割合



□3年次の医学部志望者の何割くらいが、予備校や塾に行っていますか。

- ここでも「10%未満」（20.7%）が最大となるが、「90～100%」（16.1%）も2割近くに及ぶ。
- 「知らない=把握しきれない」が4割に上る点に留意が必要。

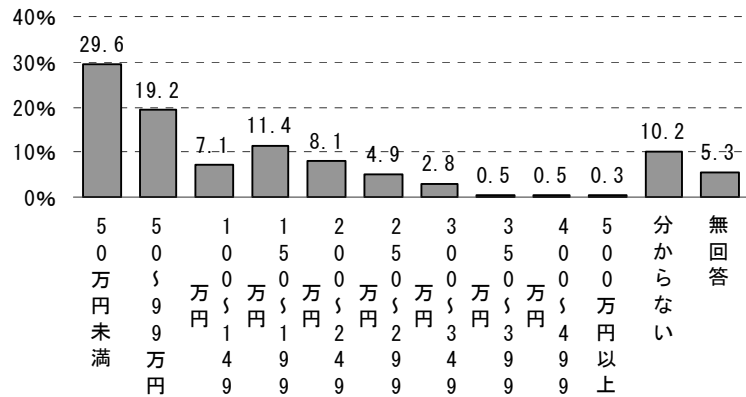
図表 10 3年次医学部志望者の予備校・塾の利用割合



□貴校の場合、3年間の学費(入学金、授業料、施設整備費、その他納付が必要な費用)

- 入学金、授業料、施設整備費等を含めた3年間の学費は、「50万円未満」(29.6%)が最大で、3割に上る。
- これに「50～99万円」(19.2%)、「150～199万円」(11.4%)が次ぐ。

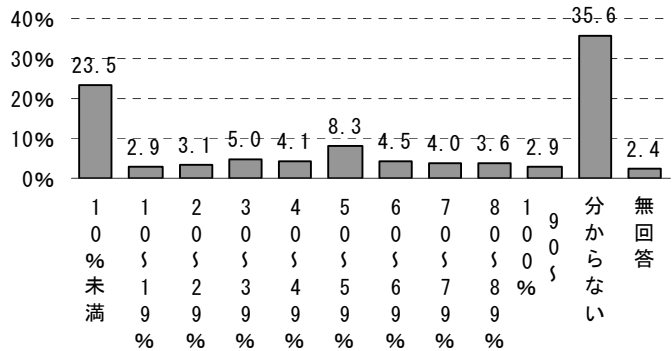
図表 11 3年間の学費



□貴校からの医学部受験者(貴校卒業の浪人生含む)の場合、親が医師や歯科医師である生徒の割合

- 医学部受験者の内、親が医師である生徒の割合は「10%未満」(23.5%)が最大で、他は「50～59%」(8.3%)が若干目立つ程度となった。
- ここでも「分からない=把握しきれない」が4割に上る点に留意が必要。

図表 12 親が医師の割合



□将来、医師を目指す生徒さんには、どのような資質・環境が望ましいとお考えですか。

- 望ましいと思われる資質・環境は「思いやり」「コミュニケーション能力」が大きく、これに「学力」、「健康」、「リーダーシップ」などが続く。

図表 13 望ましい資質・環境

	サンプル数	大いにそう思う	そう思う	そうどちらかと思えば	いどちらとも言えない	そうどちらかと思えば	そう思わない	全くそう思わない	無回答	スコア
(%)										
学力の高い生徒	1094	48.3	41.0	9.4	1.1	0.0	0.1	0.0	0.2	2.36
身体的に頑健な生徒	1094	46.3	37.7	12.2	3.0	0.2	0.4	0.1	0.2	2.26
思いやりのある生徒	1094	70.3	22.2	5.2	1.6	0.2	0.2	0.1	0.2	2.60
リーダーシップのある生徒	1094	27.0	34.8	27.2	9.4	0.5	0.3	0.4	0.4	1.76
親族に医療関係者がいる生徒	1094	0.4	2.6	9.1	44.8	5.2	16.6	20.8	0.5	-0.86
医師不足の地域に住んでいる生徒	1094	7.0	9.5	15.6	48.1	3.3	9.0	7.3	0.2	0.13
経済的に苦しい環境で育った生徒	1094	2.2	3.2	6.5	60.6	3.5	12.8	10.6	0.6	-0.42
経済的に恵まれた環境で育った生徒	1094	0.4	1.7	4.1	61.4	5.7	13.2	13.2	0.4	-0.63
コミュニケーション能力の高い生徒	1094	62.7	27.6	6.7	2.1	0.4	0.2	0.2	0.2	2.49

10%以上 20%以上

□現実には、どのような生徒に医学部受験を勧めていますか。

- 現実的に医学部受験を勧める生徒は「学力が高い」が最大で、「思いやりがある」「コミュニケーション能力が高い」などが続く。

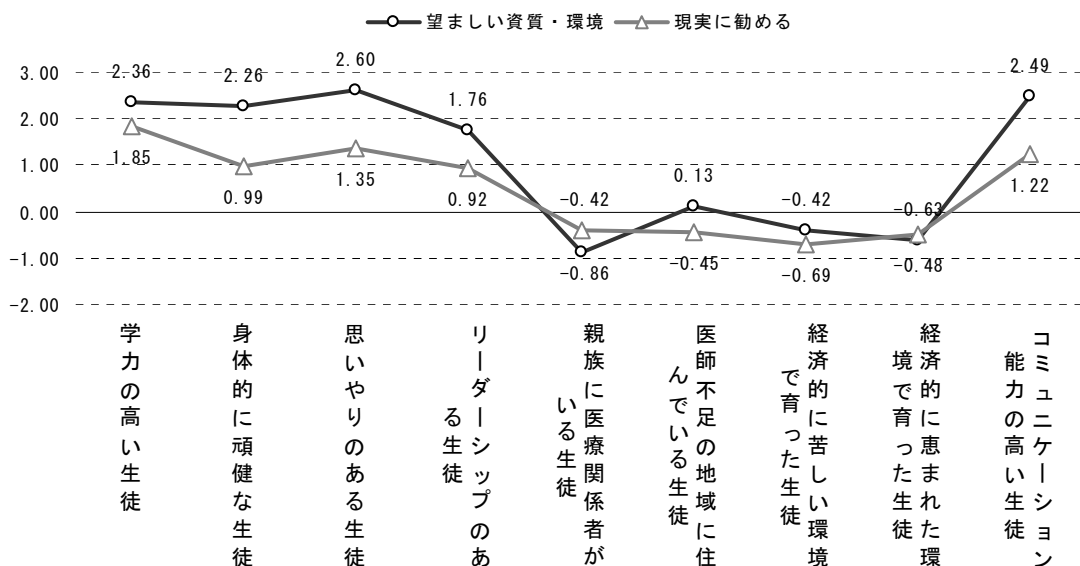
図表 14 現実的に医学部受験を勧める生徒

	サンプル数	そのとおりである	ほぼあてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらとも言えない	どちらかと言えばあてはまらない	ほとんどあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	スコア
	(%)									
学力の高い生徒	1094	41.7	22.9	10.8	15.0	0.5	1.0	1.8	6.2	1.85
身体的に頑健な生徒	1094	16.7	19.7	18.1	32.5	1.1	1.6	3.6	6.7	0.99
思いやりのある生徒	1094	25.7	20.6	17.9	25.2	0.9	1.2	2.1	6.4	1.35
リーダーシップのある生徒	1094	13.5	17.2	23.0	33.8	1.5	1.5	2.7	6.9	0.92
親族に医療関係者がいる生徒	1094	1.7	5.6	10.0	49.4	3.6	7.7	15.5	6.6	-0.42
医師不足の地域に住んでいる生徒	1094	2.7	2.9	6.1	56.1	3.7	7.8	14.2	6.6	-0.45
経済的に苦しい環境で育った生徒	1094	0.7	0.6	1.9	59.3	6.6	9.0	15.2	6.6	-0.69
経済的に恵まれた環境で育った生徒	1094	1.3	2.5	5.5	59.4	3.7	7.3	13.7	6.7	-0.48
コミュニケーション能力の高い生徒	1094	21.2	20.5	19.4	28.3	0.6	1.6	2.1	6.3	1.22

10%以上 20%以上

- 下図は「望ましいと思われる資質・環境」と「現実的に勧める生徒」を比較したスコアグラフである。
- 「学力の高い生徒」は希望と現実が比較的近いが、「身体的に健康な生徒」や「思いやりのある生徒」などは、希望と現実の乖離が大きいことが分かる。
- なお、「親族に医療関係者がいる」「経済的に苦しい・恵まれた」などはいずれもマイナス評価となっており、いずれも重視されていない。

図表 15 望ましい資質・環境と現実的に医学部受験を勧める生徒比較 スコア



※スコア：大いにそう思う+3点～全くそう思わない-3点を与え、無回答を除くサンプルで割った加重平均値

□医学部入試(制度)の現状についての下記の意見について、各々先生のお考え

- 「そのとおりである」「ほぼあてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」を合わせた肯定割合でみると、「入試では学力試験が重視されている」(97.9%)が突出した。これに「入試では面接が重視されている」(69.0%)と「経済的に(予備校や塾に行く)余裕がない家庭の生徒が医学部に進学するのは難しい」(66.9%)が拮抗して次ぐ。
- その他、「入試では小論文試験が重視されている」(62.4%)、「都市部に居住している生徒の方が医学部に進みやすい」(61.2%)なども肯定割合が6割を超える。
- 一方、「地域枠の増加により選考方法は(学力の合否ラインが異なるので)不公平になった」(22.0%)や「高校時代の課外活動が重視されている」(30.1%)などは肯定割合は少ない。

図表 16 医学部入試制度について

	サンプル数	そのとおりである	ほぼあてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらとも言えない	どちらかと言えない	ほとんどあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	スコア
(%)										
入試では面接が重視されている	1094	15.7	25.0	28.3	18.8	6.7	3.7	0.5	1.4	1.12
入試では学力試験が重視されている	1094	67.8	26.0	4.1	1.1	0.1	0.0	0.0	0.9	2.62
入試では小論文試験が重視されている	1094	6.0	21.6	34.8	27.4	6.2	2.7	0.2	1.0	0.85
高校時代の学業成績が重視されている	1094	10.5	18.0	28.7	27.5	6.9	5.7	1.6	1.2	0.74
高校時代の課外活動が重視されている	1094	1.6	7.8	20.7	40.9	12.0	11.2	4.6	1.4	-0.07
医師となる人材の選抜に適した入試になっている	1094	3.0	13.5	28.4	39.0	10.1	3.3	1.2	1.5	0.45
経済的に(予備校や塾に行く)余裕がない家庭の生徒が医学部に進学するのは難しい	1094	17.3	22.5	27.1	22.4	6.0	2.3	1.6	0.9	1.1
経済的に余裕がないことを主な理由として医学部進学をあきらめた生徒がいる	1094	8.9	11.6	20.5	33.3	8.4	9.2	6.5	1.6	0.24
経済的に余裕がなくても医学部を志願した生徒を指導した経験がある	1094	16.5	15.9	15.7	17.7	6.4	7.4	18.6	1.7	0.21
地域枠の増加により選考方法は(学力の合否ラインが異なるので)不公平になった	1094	2.8	4.5	14.7	49.6	13.1	8.2	5.9	1.1	-0.15
地域枠の増加により選考方法は(地域に定着する医師が増えるので)適切になった	1094	4.3	9.2	25.9	49.8	5.1	2.3	2.0	1.4	0.42
都市部に居住している生徒の方が医学部に進みやすい	1094	9.0	21.1	31.1	32.0	2.6	1.9	1.2	1.1	0.91
学力が高ければ経済的環境は、医学部進学に影響しない	1094	7.8	15.1	18.9	28.2	18.5	6.7	3.6	1.4	0.3
学力が高ければ居住地域が都市部か否かは、医学部進学に影響しない	1094	11.2	24.8	21.9	26.8	10.7	2.4	1.0	1.2	0.88
学力が高ければ居住都道府県は、医学部進学に影響しない	1094	12.6	24.5	22.7	26.7	9.3	2.0	1.1	1.1	0.94

10%以上

20%以上